

令和6年度「伊勢市の認知症施策の取組み状況」

I. 認知症に対する理解の増進

(1) 認知症サポーター養成講座の開催(R7.1 末)

認知症に対する理解を深め、地域で見守る支援者の増加を目的に講座を開催し、認知症サポーターの養成を行っている。

開催回数	延参加者数	認知症サポーター総数(※H20年度からの総数)
44回	956人	13,539人(内:キッズ 2,861人)

※随時開催中

(2) 認知症の理解のための普及啓発

①高年齢者や認知症にやさしい応援団「こども作文コンクール」

子どもたちが日常生活での体験や読書を通じて、高齢者や認知症について考え、優しさや思いやりを育むきっかけとなるよう作文コンクールを行った。

対 象： 市内小学校全学年に周知

応募数： 13 学校 33 点

②認知症本の処方箋

一般社団法人伊勢地区医師会および伊勢志摩区域連携型認知症疾患医療センターの協力のもと、伊勢市立図書館と協働で「本の処方箋」を発行している。

巻数：15 巻

③認知症に関するパネル展示

・世界アルツハイマーデーに合わせた啓発

場所：福祉総合支援センターよりそい、小俣図書館、伊勢図書館

内容：認知症に関する書籍の企画展示、相談先の周知等

・三重県男女共同参画連携映画祭 2024「オレンジランプ」上映会での啓発 (223 人)

・伊勢市健康福祉ステーション1周年記念イベントでの啓発(130 人)

2. 認知症への早期対応の取組の推進

(1) 「認知症ケアパス」の普及

認知症の状態に応じた適切な支援が行われるための効果的な情報発信を目的に「認知症あんしんガイドブック（第9版）」を啓発事業や相談時に配布している。

ケアパスの種類	配布数
概要版	923 冊
冊子版	238 冊

(2) 地域包括支援センターを中心とした相談支援体制の充実

認知症地域支援推進員を各地域包括支援センターに配置し、相談に早期に対応できるよう連携している。

(3) 認知症初期集中支援チームの機能向上

認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族に早期に関わり対応を行うことにより、専門機関受診や重症化を防ぐことを目的に、認知症専門医や保健福祉の専門職による「認知症初期集中支援チーム」を配置し支援体制の構築と個別の支援を行っている。

会議開催数	支援件数
3回	継続 1 件・新規 2 件

・年 4 回実施予定

3. 認知症にやさしい地域づくりの推進

(1) 認知症地域支援推進員による地域活動の促進

認知症地域支援推進員は、専門知識を活かして相談に応じたり、地域の実情に応じた認知症施策の取り組みを市と連携して進めている。認知症カフェの開催やチームオレンジの活動など地域のネットワークづくりを行っている。

(2) 認知症の人と家族への支援

★①認知症サポーターステップアップ講座の実施

認知症サポーターステップアップ講座を開催し、サポーターの継続学習の場と共に、認知症の人や家族のニーズとのマッチング等を行い、サポーターが認知症の人やその家族を支援する自主的な地域活動「チームオレンジ」につなげている。

実施場所	参加者
3 か所	延45人(実人数25人)

★②チームオレンジの充実

それぞれの活動拠点で、認知症の人の見守りや話し相手、地域の中で声かけなどの支援を行うチームオレンジの育成を行っている。

チームオレンジ数 (R7.1末)	発足数（年度別）					
	R1	R2	R3	R4	R5	R6
11か所	4	1	3	1	0	2

★③認知症カフェの開催

地域からの孤立を防ぎ認知症の人と介護者の心理的負担の軽減を目的に、ボランティア、地域包括支援センターなどが地域で開催し、連携を図っている。

認知症カフェ
(市主催)よりそい (地域で開催)ほほえみ、あこや、さくら 地域包括支援センター等

〈オレンジカフェよりそい〉

毎月第4金曜日に福祉総合支援センターよりそいで開催している。

実施回数	参加者
10回	本人 延29人(実8人) 家族 延65人(実22人)

④「認知症の人と家族の会」との連携

「認知症の人と家族の会」が主催する「伊勢地区つどい」を福祉総合支援センターよりそいの場で隔月に開催し、連携を行っている。

(3) 地域のネットワークの強化

①認知症高齢者等SOSネットワーク「いせ見守りてらす」登録制度

行方不明になるおそれのある認知症高齢者の日頃からの見守りと、早期発見・保護を目的に認知症高齢者の登録制度を実施し、地域や協力機関でのネットワークを構築している。

登録者数(R7.1末時点)	協力機関数(R7.1末時点)
97人(R6年度21人)	45機関 144支店(R6年度0機関)

②認知症高齢者等SOS家族支援サービス

認知症高齢者等が行方不明になった場合に位置情報提供システム（GPS端末機器）を活用し高齢者の位置を特定することにより、早期発見および行方不明時の事故防止を図るとともに、在宅で介護を行っている家族の負担軽減を図ることを目的に、位置情報提供システムの貸与と初期費用の助成を行っている。

利用者数（R7.1末）
2人（R6年度 2人）

③認知症高齢者等個人賠償責任保険事業

日常生活での偶発的な事故により、認知症の高齢者等の本人や家族が法律上の賠償責任を負う場合に、その賠償金を保険で補償する事業。保険料を市が負担。

利用者数（R7.1末）
51人

④高齢者の見守り支援等に関する協定の締結

高齢者が住み慣れた地域で自立した暮らしを安心して続けられるまちづくりを目的に、高齢者等の見守り活動や、認知症サポーターの養成等について協定を締結している。

協定の名称	締結機関（R7.1末）
高齢者の見守りと支援に関する協定	36機関

4. 認知症を取り巻く環境の充実、社会参加の促進

★（1）スローショッピング事業

認知症の人が自分のペースで好きなものを買って、元気になっていく活動。社会参加につながるとともに、認知症への理解を推進している。

実施回数	実施場所	参加者
3回	ぎゅーとら小俣店 イオンタウン伊勢ラパーク店 ぎゅーとらうらのはし店	延14人（7組）

（2）若年性認知症の取組み

介護支援専門員や介護保険サービス事業所職員等を対象に3月7日に「若年性認知症を学ぶ講演会」を開催予定。

（3）認知症ケアの充実

- ・認知症疾患医療センターとの連携